

Course number		U-LAS00 10001 LJ34					
Course title (and course title in English)		哲学Ⅰ Philosophy I		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer, NUKUI TAKASHI	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Philosophy(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
Year/semesters		2025・First semester		Number of credits		2	
Days and periods		Wed.4		Target year		All students	
Eligible students		For all majors					
[Overview and purpose of the course]							
<p>この授業では、西洋哲学史上の代表的な哲学者の思想を概観する。その際に、歴史上の著名な哲学者が、どのような倫理的・道徳的主張を行ったかということ、彼らが世界をどのようなものとして捉えたかということと合わせて考える。これら二つのことは、西田幾多郎が『善の研究』の冒頭で述べるように、以下のように連関しているからである。「世界はこのようなもの、人生はこのようなものという哲学的世界観および人生観と、人間はかくせねばならぬ、かかるところに安心せねばならぬという道徳宗教の実践的要求とは密接の関係を持っている」。「われわれは何をなすべきか、どこに安心すべきかの問題を論じる前に、まず天地人生の真相はいかなるものであるか、真の实在とはいかなるものなるかを明らかにせねばならぬ」。</p> <p>哲学が自分自身で森に分け入って探索することであるとすれば、哲学史はそのような探索の先人の記録である。哲学史を学ぶことは、自分自身で探索することとは異なるかもしれない。しかし、それらの知は自分自身で探索する際の豊かな道標となるはずである。</p>							
[Course objectives]							
西洋哲学史における代表的な議論の幾つかを学ぶことによって、ものごとに対する多義的な見方を身に着け、複雑な現実を単純化せずに捉えられるようになる。							
[Course schedule and contents]							
<p>以下のようなスケジュールで講義を行う予定である。</p> <p>下記は各回で中心的に扱う哲学者であり、記載がないが関連する哲学者についても扱うことがある。</p> <p>また、進行状況によっては、内容や順番を変更する可能性がある。</p> <p>第01回 イントロダクション 講義全体の趣旨・概要と成績評価などについての説明</p> <p>第02回 古代ギリシアの哲学（１）：ソクラテス以前の哲学者</p> <p>第03回 古代ギリシアの哲学（２）：ソクラテス、プラトン、アリストテレス</p> <p>第04回 キリスト教と哲学（１）：イエス、パウロ、アウグスティヌス、トマス・アキナス</p> <p>第05回 近代の哲学（１）：デカルト</p>							
<div style="text-align: right;">Continue to 哲学Ⅰ(2)</div>							

哲学Ⅰ(2)

第06回 近代の哲学(2): ロック、バークリー、ヒューム

第07回 近代の哲学(3): カント

第08回 近代の哲学(4): ヘーゲル

第09回 現代の哲学(1): キルケゴール、ニーチェ、フロイト、マルクス

第10回 現代の哲学(2): 論理実証主義、言語哲学、プラグマティズム

第11回 現代の哲学(3): 現象学(1) フッサール

第12回 現代の哲学(4): 現象学(2) ハイデガー

第13回 現代の哲学(5): 技術論 ポール・ヴィリリオ

第14回 現代の哲学(6): フランス現代思想 デリダ、ドゥルーズ

期末試験

第15回 期末試験のフィードバック

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

小課題40%と期末試験60%で評価する。

[Textbooks]

伊藤邦武 『物語 哲学の歴史 自分と世界を考えるために』(中公新書, 2012年)

[References, etc.]

(References, etc.)

山本巍ほか 『哲学 原典資料集』(東京大学出版会, 1993年)

Anthony Kenny 『A New History of Western Philosophy, vol. 1-4』(Oxford Univ Press, 2004)

熊野純彦 『西洋哲学史 古代から中世へ』(岩波新書, 2006年)

熊野純彦 『西洋哲学史 近代から現代へ』(岩波新書, 2006年)

千葉雅也 『現代思想入門』(講談社, 2022年)

[Study outside of class (preparation and review)]

【予習】については特に必要ないが、講義スケジュールは上に記したようなものなので、興味があれば各学者の生涯や時代背景について調べておくこと。

【復習】としては、配布物やノートをしっかりと見返し、講義で扱った著作などを適宜各自で読み、理解を深めておくこと。

[Other information (office hours, etc.)]

講義内容についての質問などは、講義前後の時間に直接教員まで。